角田文衛博士著作目録

A）著　　書

1	欧洲の四季	1950年	大阪　三明社
2	古代史通論　第一分冊	〃	〃　〃
3	ポンペイの遺跡	1951年	〃　大阪市立美術館
4	古代学序説	1954年	東京　山川出版社
5	古代北方文化の研究	〃	京都　祖国社
6	原始社会（アテネ文庫）	1955年	東京　弘文堂
7	死都ポンペイ（岩波写真文庫）	〃	〃　岩波書店
8	西洋文化の誕生	1961年	〃　三省堂
9	佐伯今毛人（『人物叢書』108）	1963年	〃　吉川弘文館
10	承香殿の女御（中公新書）	〃	〃　中央公論社
11	中務典侍（平安叢書）	1964年	大阪　古代学協会
12	紫式部の身辺（平安叢書）	1965年	〃　〃
13	律令国家の展開	〃	東京　塙書房
14	紫式部とその時代	1966年	〃　角川書店
15	紫式部―その生涯と遺薫―	1968年	京都　平安博物館
16	若紫抄―若き日の紫式部―	〃	東京　至文堂
17	王朝の映像―平安時代史の研究―	1970年	〃　東京堂出版
18	石と森の文化（『沈黙の世界史』５）	1971年	〃　新潮社
19	増補　古代北方文化の研究	〃	〃　新時代社
20	増補　古代学序説	1972年	〃　山川出版社
21	日本の後宮	1973年	〃　学燈社
22	椒庭秘抄―待賢門院璋子の生涯―	1975年	〃　朝日新聞社
23	王朝の明暗―平安時代史の研究・第二冊―	1977年	〃　東京堂出版
24	平家後抄―落日後の平家―	1978年	〃　朝日新聞社
25	おもしろく源氏を読む―源氏物語講義―（中村真一郎氏と共著）	1980年	〃　朝日出版社
26	ヨーロッパ古代史論考	〃	〃　平凡社
27	日本の女性名（上）―歴史的展望―（『歴史新書』〈日本史〉30）	〃	〃　教育社
28	平家後抄　上・下（朝日選書）２冊	1981年	〃　朝日新聞社
29	王朝史の軌跡	1983年	〃　学燈社
30	平安の春	〃	〃　朝日新聞社
31	京の朝晴れ	〃	〃　角川書店
32	角田文衛著作集５：平安人物志（上）	1984年	京都　法蔵館
33	角田文衛著作集４：王朝文化の諸相	〃	〃　〃
34	角田文衛著作集７：紫式部の世界	〃	〃　〃
35	角田文衛著作集３：律令国家の展開	1985年	〃　〃
36	待賢門院璋子の生涯―椒庭秘抄―（朝日選書）	〃	東京　朝日新聞社
37	角田文衛著作集６：平安人物志（下）	〃	京都　法蔵館
38	角田文衛著作集２：国分寺と古代寺院	〃	〃　〃
39	角田文衛著作集１：古代学の方法	1986年	〃　〃
40	奥州平泉―黄金の世紀（荒木伸介氏他と共著）	1987年	東京　新潮社
41	日本の女性名（中）―歴史的展望（『歴史新書』〈日本史〉42）	〃	〃　教育社
42	日本の女性名（下）―歴史的展望（『歴史新書』〈日本史〉43）	1988年	〃　〃
43	佐伯今毛人（人物叢書新装版）	〃	〃　吉川弘文館
44	紫式部―その生涯と遺薫―（増訂版）	1989年	京都　紫式部顕彰会
45	平安京散策	1991年	〃　京都新聞社
46	王朝の残映―平安時代史の研究・第三冊―	1992年	東京　東京堂出版

47 転換期の考古学	1993年	東京	雄山閣
48 京の夕映え	〃	〃	東京堂出版
49 平安の春（講談社学術文庫）	1999年	〃	講談社
50 平家後抄—落日後の平家—上・下（講談社学術文庫）２冊	2000年	〃	講談社
51 薄暮の京	2001年	〃	東京堂出版
52 欧州の四季	2002年	〃	雄山閣
53 二条の后　藤原高子—業平との恋	2003年	〃	幻戯書房
54 古代学の展開	2005年	〃	山川出版社
55 日本の女性名—歴史的展望—	2006年	〃	国書刊行会
56 紫式部伝—その生涯と『源氏物語』	2007年	京都	法蔵館
57 平城時代史論考	〃	東京	吉川弘文館

B）編著・監修

1 國分寺の研究（上下巻、全２冊）	1938年	京都	考古学研究会
2 世界史地図（山根徳太郎氏と共編）	1952年	東京	日本出版
3 北欧史（世界各国史Ⅵ）	1955年	〃	山川出版社
4 共同体の研究　上巻	1958年	〃	理想社
5 世界史大系　第１巻（先史時代）	1959年	〃	誠文堂新光社
6 世界考古学大系　第14巻（ヨーロッパ・アフリカⅢ）	1960年	〃	平凡社
7 世界の歴史　第１巻（歴史のあけぼの）	〃	〃	筑摩書房
8 世界考古学大系　第９巻（北方ユーラシア・中央アジア）	1962年	〃	平凡社
9 大分県丹生遺跡第一次・第二次発掘調査概報	1964年	大阪	古代学協会
10 大分県丹生遺跡第三次発掘調査概報	1965年	〃	〃
11 大分県丹生遺跡第四次発掘調査概報	1966年	〃	〃
12 新修国分寺の研究（全７巻８冊）	1986～1997年	東京	吉川弘文館
13 平安時代史事典（全１巻３冊）	1994年	〃	角川書店
14 平安京提要	〃	〃	〃
15 考古学京都学派	〃	〃	雄山閣出版
16 平安の都（朝日選書）	〃	〃	朝日新聞社
17 考古学京都学派〈増補〉	1997年	〃	雄山閣出版
18 源氏物語の地理（加納重文氏と共編）	1999年	京都	思文閣出版
19 古代王権の誕生Ⅰ～Ⅳ（全４巻）	2003年	東京	角川書店

C）訳　　書

1 キューン著『人類と文化の誕生』	1958年	東京	みすず書房
2 キューン著『古代文明の開花』	1959年	〃	〃

D）論文・報告

1 伊達の讀方の史的一考察	1931年	『城』第６号	東京
2 郷土史前學の研究に就いて—地歴館の落成に際して—	〃	『成城學園時報』第25号	〃
3 土偶土版退化説について	1933年	『双曲線』第１号	〃
4 近代に於ける女性憎悪の潮流	〃	『城』第13号	〃
5 メガロン	1934年	『双曲線』第２号	〃
6 紡錘形立體土製品を中心として	〃	『人類学雑誌』第49巻第12号	〃
7 西洋古代史	〃	『児童百科大辞典』第17巻	〃
8 ククテーニ遺跡について	1935年	『史林』第20巻第３号	京都
9 烏帽子形石器	〃	『人類学雑誌』第50巻第７号	東京
10 陸奥に於ける二・三の薄手式土器	〃	『人類学雑誌』第１巻第２号	〃
11 古瓦の研究について	〃	『双曲線』第３号	〃
12 球形土製品資料	〃	『史前学雑誌』第７巻第６号	〃

13	廢光明山寺の研究	1936年	『考古学論叢』第１輯	京　都
14	海龍王寺付近出土の古瓦	1936年	『考古学論叢』第２輯付録	京　都
15	最近の希臘考古学界	〃	『考古学論叢』第２輯	〃
16	陸前里浜貝塚の尖底土器	〃	『史前学雑誌』第８巻第５号	東　京
17	陸前船入島貝塚の研究	〃	『考古学論叢』第３輯	京　都
18	北シリア・チャガール・バザールの発掘	1937年	『考古学論叢』第５輯	〃
19	上代の種子島	〃	『歴史地理』第69巻第１号	東　京
20	ヴァフィオ盃について	〃	『考古学論叢』第４輯	京　都
21	遠江国御厨村出土の銅釧	〃	『考古学論叢』第４輯	〃
22	日向西都原出土の経筒	〃	『考古学論叢』第５輯	〃
23	丹波国分尼寺	〃	『考古学研究会会報』第１号	〃
24	丹後國分寺の本尊	〃	『考古学研究会会報』第２号	〃
25	埃及・希臘の文化交渉	〃	『考古学論叢』第６輯	〃
26	西安寺出土陶製骨壷について	〃	保井芳太郎編『王寺文化史論』	奈良県王寺町
27	鰐淵寺の経筒について	1938年	『考古学論叢』第７輯	京　都
28	平田寺の聖観音像	〃	『考古学雑誌』第28巻第８号	東　京
29	國分寺の設置	〃	角田文衛編『國分寺の研究』上巻	京　都
30	國分寺の寺院組織	〃	〃	〃
31	山背國分寺	〃	〃	〃
32	丹後國分寺	〃	角田文衛編『國分寺の研究』下巻	〃
33	多嶽島分寺	〃	〃	〃
34	國分寺研究史	〃	〃	〃
35	*Studien über den Tempel Kokubun-ji im Umriss*	〃	〃	〃
36	浜田耕作先生略伝	〃	『以可留我』第８冊	奈良県法隆寺村
37	瑟について	〃	『考古学論叢』第９輯	京　都
38	陸奥榎林遺跡の研究	1939年	『考古学論叢』第10輯	〃
39	天平感宝元年聖武天皇勅書考証	〃	『考古学論叢』第11輯	〃
40	手玉考	〃	『寶雲』第６年第４冊	〃
41	常陸東栗山遺跡調査概報	〃	『人類学雑誌』第54巻第９号	東　京
42	偶人について	〃	『考古学論叢』第14輯	京　都
43	先史時代の東部日本（三森定男氏と共筆）	〃	『人類学・先史学講座』第12巻	東　京
44	先史考古学について	〃	『人類学・民族学会連合大会第四回記事』	〃
45	羽後角間崎遺跡の土器	〃	『史林』第24巻第３号	京　都
46	デュルプヘルト教授の功績	1940年	『史林』第25巻第４号	〃
47	ウヴァーロフ伯夫妻と露西亜考古学	1943年	『月刊ロシヤ』第９巻第６号	東　京
48	グスターフ・コッシナ教授と現代独逸考古学界	〃	『史林』第28巻第３号	京　都
49	現代伊太利考古学の諸問題	1944年	『日伊文化研究』第17号	東　京
50	備中國下道氏塋域に於ける―火葬墓	〃	『考古学雑誌』第34巻第４号	〃
51	攝津川邊郡長尾山に於ける古銭の出土（梅原末治博士と共筆）	1946年	『西宮』第３号	京　都
52	平安初期の政治思想	1949年	『歴史学』第１輯	〃
53	アルタイ地方出土の貨幣	〃	〃	〃
54	欧州における遠古史研究の展開	〃	『人文研究』第１巻第１号	大　阪
55	三時期法批判	1950年	『人文研究』第１巻第５・６号合併号	〃
56	古代日本人の生活	〃	『古代の生活研究手帖』	〃
57	古代の越の国	1951年	杉本寿編『越前国茶臼山古墳の研究』（『茶臼山史蹟保存顕彰会叢書』第１号	武　生
58	茶臼山と武生文化	〃	〃	〃
59	*West-Europeanism in the World History*	〃	*Studies in Humanities,* vol. I	Osaka
60	アルタイ・パズィルィク第二号墳の調査	〃	『史林』第34巻第１・２合併号	京　都

61	ソ連考古學界の現況	1951年	『世界美術全集月報』第10号	東　京
62	日本始原文化の意味	〃	『史学雑誌』第60編第６号	〃
63	銘辞学の方法論	〃	『文化史学』第４号	京　都
64	文化の起源と成立　エジプト・メソポタミア	1952年	『人類と文化』	〃
65	タルルグレン教授評伝（上）・（下）	〃	『古代學』第１巻第１・２号	大　阪
66	文化の黎明（藤原光輝氏と共筆）	〃	『奈良縣綜合文化調査報告書、都介野地區』	奈　良
67	都市文化の波及	〃	〃	〃
68	ハッスーナ文化	〃	『古代学』第１巻第２号	大　阪
69	セレンガ河流域の古代文化	〃	『古代学』第１巻第３号	〃
70	ジャルモ文化について	〃	『考古学雑誌』第38巻第２号	東　京
71	ケンコール古墳群の調査	〃	『人文研究』第３巻第10号	大　阪
72	*Imperial Treasures of the Shosoin*	〃	*Archaeology*, vol.V, no.4	Cambridge Mass.
73	スキタイの起原問題	1953年	『古代学』第２巻第１号	大　阪
74	ハトラの廃墟	〃	『世界歴史事典第14巻月報』	東　京
75	M. パロッティーノ『エトルスキ学小史』（翻訳）	〃	『古代学』第２巻第２号	大　阪
76	ウラジオストック東郊バサルギン貝塚について	〃	〃	〃
77	欧州の村落文化	〃	『世界美術全集』第１巻	東　京
78	ユーラシアの骨角器文化	〃	〃	〃
79	遊牧的社會構成の成立	〃	『人文研究』第４巻第９号	大　阪
80	ハスティナープラの調査	〃	『史峯』第１巻第１号	〃
81	古拙時代前期のイエリコ	〃	『古代学』第２巻第３号	〃
82	久邇京と泉河	〃	『萬葉集大成月報』第７号	東　京
83	史学と考古学	1954年	『歴史教育』第２巻第３号	〃
84	ルリスタン文化とスキタイ文化	〃	大阪市美術館編『古代北方美術』	大　阪
85	西方古典文化の成立について	〃	『古代学』第３巻第３号	〃
86	スウェーデン小史	〃	『世界写真地理全集』第６巻	東　京
87	ノールウェー小史	〃	〃	〃
88	劔御子寺鐘銘	〃	『書道全集』第９巻	〃
89	天平五年右京計帳の断簡	1955年	『史迹と美術』第25輯第１号（通巻第249号）	京　都
90	万葉集と正倉院	〃	『万葉集大成』第11巻（特殊研究篇）	東　京
91	露西亞考古學史（Ⅰ）	〃	『古代学』第４巻第１号	大　阪
92	紀寺の奴	〃	『古代学』第４巻第２号	〃
93	歴史學における西ヨーロッパ主義	〃	『新論』第１巻第３号	東　京
94	西ヨーロッパの考古学	〃	『日本考古学講座』第２巻	〃
95	*The Problem of the Ending of the Ancient World*	〃	『古代学』第４巻第３・４合併号	大　阪

96 *Das Problem des Endes der antiken Welt* (übersetzt von MARIE AGNES VON FRANZ) in: *Zur Frage der Periodengrenze zwischen Altertum und Mittelalter*, hrsg. von P. E. HUEBINGER, Darmstadt, BRD, Wissenschaftliche Buchgesellschaft (No. 94の独語訳), 1969.

97	北アジア：民族と文化	1956年	『新講座　地理と世界の歴史』アジア篇上巻	京　都
98	先史時代の南仏	〃	『新講座地理と世界の歴史』ヨーロッパ篇Ⅱ	〃
99	荘園の遺跡	〃	『日本考古学講座』第６巻	東　京
100	古代の終末問題	〃	『文化史学』第10号	京　都
101	古代都市文明の美術	1957年	『西洋美術史』（『美術手帖』臨時増刊号〔第123号〕）	東　京
102	所謂『李陵の邸宅趾』について	〃	『古代学』第６巻第１号	大　阪
103	オドアケルの立場―貨幣からみた一考察―	〃	『文化史学』第13号	京　都

104	プォーカス帝の金貨	1957年	『古代文化』第１巻第２号	京　都
105	ナマースガ遺丘―アナウ文化の再吟味―	1958年	『史林』第41巻第１号	〃
106	ゴードン・チャイルド	〃	『古代文化』第２巻第１号	〃
107	アク・タム墓地	〃	『古代学』第６巻第４号	大　阪
108	国府と国分寺	〃	藤岡謙二郎編『国府の歴史地理学的研究』	京　都
109	古代の東欧	〃	梅田良忠編『東欧史』	東　京
110	西ローマ帝国の滅亡について	〃	『歴史教育』第６巻第５号	〃
111	マルコスとその歴史観	〃	『古代学』第７巻第２号	大　阪
112	*Prolegomena to the medieval Roman Empire*	〃	『古代学』第７巻第３・４合併号	〃
113	共同体―研究序説―	〃	『共同体の研究』上巻	東　京
114	アルパチヤー遺丘	〃	〃	〃
115	ガッスール遺丘	〃	〃	〃
116	無土器文化の名称について	1959年	『古代文化』第３巻第１号	京　都
117	旧石器・中石器時代の文化：パレスティナ・シリア・アナトリア	〃	『世界考古学大系』第10巻（西アジアⅠ）	東　京
118	東地中海域の黎明：アナトリア	〃	〃	〃
119	銭司出土の骨壷	〃	『古代文化』第３巻第２号	京　都
120	ジョン・マーシャル卿の偉業	〃	〃	〃
121	鄭振鐸氏の逝去	〃	『古代文化』第３巻第４号	〃
122	旧石器・中石器時代	〃	『世界史大系』第１巻	東　京
123	考古学の本質	〃	『古代文化』第３巻第５・６号	京　都
124	日本古代史の時代区分	〃	『古代文化』第３巻第７～９号	〃
125	エトルスク人の歴史と文化	〃	『ローマ古美術展』案内書	東京・大阪
126	エトルスキの建築	〃	『世界建築全集』第６巻	東　京
127	クレオパトラ	〃	『古代文化』第３巻第10号	京　都
128	國分寺と金光明寺	〃	『古代文化』第３巻第11・12号	〃
129	『トムセン：異教的古代遺物の時代区分』解説	〃	『古代学』第８巻第３号	大　阪
130	彌生時代の時代區分	〃	〃	〃
131	ユリウス・カエサルの死―ローマ元老院覚書（１）―	1960年	『古代文化』第４巻第２号	京　都
132	磔刑の戯画	〃	『古代文化』第４巻第３号	〃
133	西方古典文化の展開	〃	『世界考古学大系』第14巻	東　京
134	古典時代の工芸：陶芸（村田数之亮氏と分担執筆）	〃	〃	〃
135	古典時代の文化交流：（糸賀昌昭氏と分担執筆）	〃	『世界考古学大系』第14巻	東　京
136	古典時代後期の地方文化	〃	〃	〃
137	ハルシュタットとラ・テーヌ	〃	〃	〃
138	地中海とギリシア文化	〃	日本経済新聞社編『ギリシア・ローマ・オリエントの美術』展覧会案内書	〃
139	仁寿三年『大和國佐山郷長解』について	〃	『古代文化』第４巻第４号	京　都
140	酒宴の骸骨	〃	『古代文化』第４巻第５号	〃
141	解放奴隷クイエトゥス	〃	『古代文化』第４巻第６号	〃
142	広東省西樵山の遺跡	〃	『古代文化』第５巻第１号	〃
143	境域を越えたギリシア・ローマ	〃	『図説世界文化史大系』第26巻	東　京
144	家と村	〃	『図説世界文化史大系』第１巻	〃
145	文化のあけぼの	〃	『世界の歴史』第１巻	〃
146	土器と石器	〃	〃	〃
147	平安の宮廷	〃	『世界名著大事典月報』第４号	〃
148	京都府長岡町出土の骨壷	〃	『古代文化』第５巻第５号	京　都
149	軍団と衛府	〃	『西田先生頌寿記念日本古代史論叢』	東　京
150	イラン領クルディスタンにおける最近の考古学的調査	1961年	『古代文化』第６巻第１号	京　都

151	内陸アジアの始原	1961年	『図説世界文化史大系』第13巻（北アジア・中央アジア）	東　京
152	スキタイの世界	〃	〃	〃
153	日本考古学の系譜	〃	『歴史教育』第９巻第３号	〃
154	新環境と獲得経済の存続―中石器時代の文化―	〃	『世界考古学大系』第12巻（ヨーロッパ・アフリカⅠ）	〃
155	ヨーロッパ文明の定礎―青銅器時代の文化―	〃	〃	〃
156	天平勝宝元年の『造東大寺司解』	〃	『古代文化』第６巻第４号	京　都
157	藤原袁比良	〃	『古代文化』第６巻第５号	〃
158	恵美押勝の乱	〃	『古代文化』第６巻第６号	〃
159	宝亀八年の「民都省牒」について	〃	『ビブリア』第20号	天　理
160	柴田承桂博士と古物学	〃	『古代学』第10巻第１号	大　阪
161	古代ヨーロッパの高城	1962年	『古代史講座』第２巻	東　京
162	宇陀の高城	〃	『近畿古文化論攷』	〃
163	ユーラシア内陸文化の展望	〃	『世界考古学大系』第９巻	〃
164	始原人の足跡	〃	〃	〃
165	オリエント文化の伝播：草原地帯の牧主農副文化	〃	〃	〃
166	遊牧民と古典帝国：突厥と古典帝国	〃	〃	〃
167	バラルイクの壁画	〃	〃	〃
168	原始という用語	〃	『古代史講座月報』第３号	〃
169	日本文化の源流	〃	『古代文化』第８巻第３号	京　都
170	スピッツベルゲンの氷河	〃	〃	〃
171	古代北方文化の研究―東西の文化交流を中心に―	〃	『歴史教育』第10巻第５号	東　京
172	岩宿文化研究の問題点	〃	『古代文化』第８巻第４号	京　都
173	勅旨省と勅旨所	〃	『古代学』第10巻第２・４合併号	大　阪
174	大分県丹生遺跡―予察概報―	〃	『古代文化』第８巻第４号	京　都
175	山西省匼河村の遺跡	〃	〃	〃
176	エトルーリア人とその制海権	〃	『古代史講座』第４巻	東　京
177	青銅器時代中期以後の地中海東岸地方：シリア、パレスティナ、西アナトリア、キュプロス	〃	『世界考古学大系』第11巻	〃
178	葉栗臣翼の生涯（一）	〃	『古代文化』第９巻第２号	京　都
179	葉栗臣翼の生涯（二）	〃	『古代文化』第９巻第３号	〃
180	丹生文化の問題	〃	『古代史講座月報』第５号	東　京
181	考古学史ヨーロッパ・アメリカ	〃	『世界考古学大系』第16巻	〃
182	ハッティの美術	1963年	『世界美術全集』第20巻	〃
183	カナアンの美術	〃	〃	〃
184	右京の侍従池領（一）	〃	『古代文化』第10巻第２号	京　都
185	藤原行成の妻	〃	〃	〃
186	右京の侍従池領（二）	〃	『古代文化』第10巻第４号	〃
187	正暦五年の疫癘	〃	『古代文化』第10巻第４号	〃
188	紫式部の本名	〃	『古代文化』第11巻第１号	〃
189	むまの中将―紫式部・和泉式部伝補充のために―	〃	〃	〃
190	平安宮の遺址	〃	『人物叢書月報』	東　京
191	源久曽	〃	『古代文化』第11巻第５号	京　都
192	藤原基経の室家	1964年	『古代文化』第12巻第１号	〃
193	東五条第	〃	『大和時報』第173号	大　阪
194	源氏物語後宮世界の復原	〃	『國文学―解釈と教材の研究―』第９巻第６号	東　京
195	不比等の娘たち	〃	『古代文化』第12巻第４・５号	京　都
196	ゲルマン・ケルト文化の源流	〃	『世界美術全集』第25巻（西洋１：先史）	東　京

197	ヴァイキングの美術	1964年	『世界美術全集』第25巻（西洋１：先史）	東　京
198	チェルトムルイクの壷	〃	*Museum* 第159号	〃
199	首皇子の立太子について	1965年	『日本歴史』第201号	〃
200	日本旧石器時代研究の視角	〃	『歴史教育』第13巻第３号	〃
201	道長と紫式部―『戸を叩く人』の問題（一）	〃	『古代文化』第14巻第３号	京　都
202	道長と紫式部―「戸を叩く人」の問題（二）	〃	『古代文化』第14巻第４号	〃
203	オリエント古典文化の問題	〃	『オリエント』第７巻第３・４号	東　京
204	紫式部と藤原保昌―『浅からず頼めたる男』の問題―	〃	『古代文化』第15巻第１号	京　都
205	菅原孝標の邸宅	〃	〃	〃
206	大納言道綱の妻	1966年	『古代文化』第16巻第１号	〃
207	晩年の清少納言	〃	『古代学』第12巻第４号	大　阪
208	源経光の死	〃	『史峯』第２号	〃
209	紫式部の邸宅趾について	〃	『図説日本文化史大系月報』５	東　京
210	産業考古学の問題	〃	『古代文化』第17巻第１号	京　都
211	関白師実の母	〃	『新訂増補国史大系月報』第48号	東　京
212	秋のけはひたつままに	〃	『古代文化』第17巻第２号	京　都
213	「雨夜の品定め」をめぐって―藤原時代の後宮生活の諸相―	〃	『国語科通信』1966年No.２	東　京
214	アジアにおける文化の曙光	〃	『アジア文化』第３巻第１号	大　阪
215	大輔の命婦	〃	『国語と国文学』第43巻第11号	東　京
216	道綱母と時姫の邸宅	〃	『古代文化』第17巻第４号	京　都
217	*Early Primeval Culture recently Revealed in Japan.* in : *Atti del* Ⅵ *Congresso Internationale delle Scienze Preistoriche e Protostoriche*, Roma, 1966.			
218	定国の渡海―堀河天皇の遺薫―	1967年	『古代文化』第18巻第２号	京　都
219	夕顔の死	〃	『文学』第35巻第３号	東　京
220	小野小町の実像	〃	『古代文化』第18巻第４号	京　都
221	紫式部―その生涯と遺薫―	〃	『紫式部―紫式部と源氏物語展―』	東　京
222	夕顔の宿	〃	『古代文化』第18巻第５号	京　都
223	諸王の王	〃	『古代文化』第18巻第６号	〃
224	交通運輸と権力の発生	〃	*Energy* 第４巻第３号	東　京
225	貞観時代の武人―文室巻雄と坂上滝守―	〃	『軍事史学』第10号	〃
226	紫式部と常陸国	〃	『紫式部と源氏物語展』	水　戸
227	はなひり―「枕草子」第百七十九段の問題―	〃	『古代文化』第19巻第４号	京　都
228	池原網主	〃	『末永先生古稀記念古代学論叢』	吹　田
229	平重盛の母	〃	『古代文化』第19巻第６号	京　都
230	藤原高子の生涯（１～５）	1968年	『国文学・伝統と現代』第１巻第１～５号	東　京
231	陽成天皇の退位について	〃	『日本歴史』第243・244号	東　京
232	二位尼の母	〃	『古代文化』第20巻第７号	京　都
233	自然層と文化層	〃	『新版考古学講座』第１巻	東　京
234	「源氏物語」の遺跡	〃	『芸術新潮』第229号（1969年１月号）	〃
235	皇后定子の二条の宮	1969年	『古代学』第15巻第４号	京　都
236	左大臣頼長の外祖母	〃	『日本歴史』第252号	東　京
237	江口のあそび女	〃	『古事類苑月報』第25号	〃
238	小八条院	〃	『古代文化』第21巻第５号	京　都
239	スキタイ文化の問題点	〃	*Museum* 第218号	東　京
240	貞尋僧都の役割―僧兵団組織者としての―	〃	『古代文化』第21巻第６号	京　都
241	古代の桑折町	〃	『桑折町誌』	福島県桑折町
242	高階家の悲劇（１～11）	1968～1969年	『伝統と現代』第１巻第６号～第２巻第10号	東　京
243	業平の東下り	1969年	『文学』第37巻第12号	〃

244	慶滋保胤の池亭	1969年	『古代文化』第21巻第12号	京　都
245	村上源氏の塋域	〃	『古代学』第16巻第２・４合併号	大　阪
246	応天門の変	1970年	『日本と世界の歴史』第６巻	東　京
247	右大将道綱の母	〃	『日本と世界の歴史』第７巻	〃
248	摂関政治と貴族	〃	『日本と世界の歴史』第８巻	〃
249	*Biography of Murasaki Shikibu*, Part 1. in : *Murasaki Shikibu. The Greatest Lady Writer in Japanese Literature* ed. and publ. by Japanese National Commission for Unesco, Tokyo, 1970.			
250	北白川廃寺の問題	〃	『日本古文化論攷』	東　京
251	幻の都	〃	『太陽』第85号	〃
252	後一条天皇の乳母たち（１～４）	〃	『古代文化』第22巻第３・６・10・12号	京　都
253	仁明天皇の乳母たち	1971年	『古代文化』第23巻第１号	〃
254	平安内裏における常御殿と上の御局	〃	『平安博物館研究紀要』第２輯	〃
255	オスカール・モンテリウス―生涯と業績―	〃	『古代學』第17巻第４号	大　阪
256	埋蔵文化財入門	〃	『文化京都』	京　都
257	後冷泉天皇の皇子	〃	『古代文化』第23巻第４号	〃
258	源氏物語と道長	〃	『源氏物語講座』第６巻	東　京
259	賀川論文に対する論評	〃	『第四紀研究』第10巻第４号	〃
260	清少納言の女房名をめぐって	〃	『國文学―解釈と教材の研究―』第17巻第１号	〃
261	考古学の歴史：ヨーロッパ	〃	『新版考古学講座』第10巻	〃
262	小野宮の尼公	〃	『続群書類従完成会会報』第20号	〃
263	高階家二代―為家と為章―	〃	『平安博物館研究紀要』第４輯	京　都
264	平安の都	〃	『講演』京都倶楽部№21	〃
265	歴史考古学と古典考古学	1972年	『考古学ジャーナル』第64号	東　京
266	伊福吉部徳足比売―采女の問題に触れて―	〃	『青陵』第20号	橿　原
267	源氏物語	〃	『アルファ大世界百科』第85号（第６巻第５号）	東　京
268	紫野斎院の所在地	〃	『古代文化』第24巻第８号	京　都
269	平安時代における院宮の女房	〃	『国語と国文学』第50巻第１号	東　京
270	西洋古代史の研究について	1973年	古代学協会編『西洋古代史論集』Ⅰ	〃
271	白河天皇の乳母―藤原国明の母について―	〃	『日本歴史』第301号	〃
272	建礼門院の晩年	〃	『国文学春秋』第３号	〃
273	高松女院	〃	『古代文化』第25巻第７・８号	京　都
274	平安の都	〃	『歴史の旅』第３巻『京都―京の一千年―』	東　京
275	建礼門院の後半生	〃	『日本歴史』第306号	〃
276	国分寺研究の課題	〃	『古代文化』第25巻第10号	京　都
277	スエーデン国王グスターヴ六世の逝去	〃	〃	〃
278	侍従親行の悲恋	1974年	『古代文化』第26巻第１号	〃
279	狛則康の出家	〃	『古代文化』第26巻第２号	〃
280	田村麻呂の妻妾たち	〃	『古代文化』第26巻第３号	〃
281	六角の大尼上	〃	『古代文化』第26巻第４号	〃
282	建春門院の小弁	〃	『古代文化』第26巻第５号	〃
283	監物清経	〃	『古代文化』第26巻第６号	〃
284	通憲の前半生	〃	『古代文化』第26巻第７号	〃
285	一条室町第	〃	『古代文化』第26巻第８号	〃
286	崇徳院兵衛佐	〃	『古代文化』第26巻第９号	〃
287	池禅尼	〃	『古代文化』第26巻第10号	〃
288	ヨーロッパ考古学界の新動向―チャイルド学説への挑戦―	〃	『古代文化』第26巻第11号	〃
289	源頼朝の母	〃	『古代文化』第26巻第12号	〃
290	平安貴族の婚姻圏	〃	『谷崎潤一郎全集月報』第27号	東　京

291	御堂の御栄え	1974年	『日本古典文学全集月報』40	東　京
292	後冷泉朝の問題	1975年	『古代文化』第27巻第１号	京　都
293	源為義の母	〃	『古代文化』第27巻第２号	〃
294	菅原道真と藤原氏―敦仁親王の立太子をめぐって―	〃	太宰府天満宮文化研究所編『菅原道真と太宰府天満宮』上巻	福岡県太宰府町
295	白河法皇	〃	『人物日本の歴史』５	東　京
296	資宗王の妻	〃	『東方界』第３巻第４号	大　阪
297	枕草子『大進生昌が家に』の段―竹三条宮について―	〃	『古代文化』第27巻第５号	京　都
298	岡崎別当三位	〃	『古代文化』第27巻第６号	〃
299	藤原朝臣産子	〃	『古代文化』第27巻第７号	〃
300	小督の局と坊門院	〃	『古代文化』第27巻第８号	〃
301	メンギーン教授の訃	〃	〃	〃
302	平知盛	〃	『歴史と人物』第５年第10号	東　京
303	安徳天皇の入水	〃	『古代文化』第27巻第９号	京　都
304	待賢門院	〃	『人物探訪日本の歴史』第16巻：歴史の女性	東　京
305	愛宕郷と山代国造家	〃	『古代文化』第27巻第10号	京　都
306	清少納言の生涯	〃	『枕草子講座』第１巻	東　京
307	源頼朝の妹	〃	『古代文化』第27巻第11号	京　都
308	ローマ帝国の偉大さ	〃	『放送文化』第30巻第11号	東　京
309	覚英僧都	〃	『古代文化』第27巻第12号	京　都
310	聖武天皇陵と興福寺僧信実	〃	橿原考古学研究所編『橿原考古学研究所論集―創立三十五周年記念―』	東　京
311	健寿御前のことども	1976年	『古代文化』第28巻第１号	京　都
312	桓武天皇	〃	『人物日本の歴史』３王朝の文華	東　京
313	村上源氏の土御門第	〃	『古代文化』第28巻第２号	京　都
314	紫式部と女官の組織 新人物往来社編『日本の組織図事典』（新人物往来社　1988年）	〃	『歴史読本』臨時増刊号（第21巻第４号）再録	東　京 〃
315	鳥部山と鳥部野―平安時代を中心として―	〃	『京都市文化観光資源調査会調査報告シリーズ』３	京　都
316	太后昌子内親王の御所と藤壷の三条宮	〃	『古代文化』第28巻第３号	〃
317	各国の考古学８：ヨーロッパ	〃	江上波夫監修『考古学ゼミナール』	東　京
318	金石文Ⅵ：ヨーロッパ	〃	〃	〃
319	義経と刑部卿頼経	〃	『古代文化』第28巻第４号	京　都
320	袈裟御前	〃	『古代文化』第28巻第５号	〃
321	京都の中の王朝	〃	『國文学―解釈と教材の研究―』第21巻第７号	東　京
322	督典侍	〃	『古代文化』第28巻第６号	京　都
323	過去が再生する時	〃	『朝日ジャーナル』第18巻第26号：通巻第907号（７月２日号）	東　京
324	続平家物語	1976～1977年	『朝日ジャーナル』第18巻第46号～第19巻第26号	〃
325	文章博士家経の邸宅	1976年	『古代文化』第28巻第７号	京　都
326	清少納言と平安京	〃	『絵巻―新修日本絵巻物全集月報』８	東　京
327	平安後期物語の史的背景	〃	『鑑賞日本古典文学』第12巻（堤中納言物語：とりかへばや物語）	〃
328	一條天皇	1977年	『別冊歴史読本』第２巻第１号	〃
329	カール・ローベルトと考古解釈学	〃	『考古論集・慶祝松崎寿和先生六十三歳論文集』	広　島
330	源平の合戦―東国平氏の第三次独立戦争	〃	『歴史読本』第22巻第７号	東　京

331	湯本文彦と『平安通志』	1977年	覆刻版『平安通志』『王朝の明暗』（東京堂出版）	東　京
332	インド・ヨーロッパ人の起源と拡汎	1978年	『古代文明の謎と発見』第10巻	〃
333	東寺千年	〃	『日本の美：東寺・智恩院・金閣・銀閣寺』	〃
334	沙弥西念の悲願	〃	『日本美術全集』７　別冊	〃
335	フェルガーナ盆地の始原文化	〃	『古代文化』第30巻第９号	京　都
336	和宮身替り説を駁す	〃	『歴史と人物』第８年第10号	東　京
337	源家将軍三代の死その謎をえぐる	1979年	『日本史の謎と発見』第６巻	〃
338	在原業平・その虚像と実像	〃	『國文学―解釈と教材の研究―』第24巻第１号	〃
339	世界考古学概説：ヨーロッパ	〃	平凡社刊『世界考古学事典』下（上巻には、項目約100を執筆）	〃
340	陸奥守藤原基成―源義経と平泉―	〃	古代学協会編『日本古代学論集』	京　都
341	伝ペルガモン発見の奉献銘	〃	『天地』第２巻第３号（天理大学付属天理参考館編「天理参考館選」再録、天理、1990年）	天　理
342	遺跡の保存と開発	〃	月刊『大建協』第32巻第４号	大　阪
343	小治田朝臣安萬侶の墓	〃	『古代文化』第31巻第７号	京　都
344	古代日本における改葬	〃	〃	〃
345	後宮の変貌		『國文学―解釈と教材の研究―』第24巻第10号	東　京
346	上原専禄博士略伝―歴史学者の光と影	〃	『古代文化』第31巻第９号	京　都
347	王朝の恋とみやび	〃	『図説人物日本の女性史』２	東　京
348	秀衡・義経が鎌倉を攻めたら	1980年	『歴史と人物』第10年第１号	〃
349	氏名と家名	〃	『日本歴史』第384号	〃
350	頼朝と義経	〃	大谷大学国史学会編『論集日本人の生活と信仰』	東　京
351	冷泉家の人びと―秘庫の開扉にあたって―	〃	『中央公論』第95年第７号（第1121号）	〃
352	新発見が続く冷泉家古文書調査	〃	『朝日ジャーナル』第22巻第34号	〃
353	日本文化と後宮	〃	『國文学―解釈と教材の研究―』第25巻第13号（10月臨時増刊号）	〃
354	後宮の歴史	〃	〃	〃
355	藤原衰比良	〃	〃	〃
356	権典侍源仲子	〃	〃	〃
357	豊原殿	〃	〃	〃
358	高倉寿子	〃	〃	〃
359	二人の義経	〃	ＮＨＫ編『歴史への招待』	〃
360	冷泉家と時雨亭文庫	1981年	『学士会会報』第750号	〃
361	皇女和宮	〃	『霞会館講演集』第５集	〃
362	冷泉家の歴史	〃	冷泉為任監修『冷泉家の歴史』	京　都
363	藤原氏と興福寺―永承の再建をめぐって―	〃	『名宝日本の美術』第５巻月報	東　京
364	清十郎と言ふ名	〃	『土車』第19号	京　都
365	遠江国分寺の歴史的意義	〃	『考古学ジャーナル』第193号	東　京
366	藤原定家の一条京極第	1982年	『國文学―解釈と教材の研究―』第26巻第16号	〃
367	オーリニヤック文化の起原問題	〃	『日本西洋史学会第32回大会発表要旨』	〃
368	呂太后と赤眉の衆	〃	『古代文化』第34巻第１号	京　都
369	天神道真の怨念と功徳	〃	『歴史と人物』第12年第３号	東　京
370	シュリーマンの邸宅	〃	『古代文化』第34巻第３号	京　都
371	シュリーマンの霊廟	〃	『古代文化』第34巻第５号	〃
372	幻の鎌倉進攻作戦―藤原秀衡―	〃	『歴史読本』第27巻第７号	東　京
373	平安京（朧谷寿氏と共同執筆）	〃	『角川・日本地名大辞典・京都府』下巻	〃

374	オストロゴルスキ教授	1982年	『古代文化』第34巻第７号	京　都
375	曠古の英傑老いらくの恋に死す・藤原忠通	〃	『歴史読本』第27巻第11号	東　京
376	源氏物語と北山	〃	『文学』第50巻第８号	〃
377	藤原定家の小倉山荘	〃	『國文学―解釈と教材の研究―』第27巻第12号	〃
378	*Metaphysics of Archaeology*	〃	『古代文化』第34巻第９号	京　都
379	A. トゥリン教授の訃	1983年	『古代文化』第35巻第１号	〃
380	義経と平泉	〃	（パンフレット、活版）	福島県桑折町
381	私の歴史学	〃	『古代文化』第35巻第４号	京　都
382	小野小町の身分	〃	『國文学―解釈と教材の研究―』第28巻第９号	東　京
383	新古今的なもの	〃	『幽玄：谷山茂著作集月報』４	〃
384	右府将軍実朝の妻	1984年	『歴史と人物』第14年第２号	〃
385	遮那王丸はなぜ奥州に下ったか	〃	『歴史と人物』第14年第８号	〃
386	金売吉次　奥州藤原氏の政商か	〃	『歴史と人物』第14年第12号	〃
387	小野皇太后	〃	『橿原考古学研究所論集』第７	〃
388	古代日本における疾病と政治	1985年	『京都市立看護短期大学紀要』第10号	京　都
389	醍醐天皇	〃	『歴史と旅』臨時増刊号（第12巻第10号）	東　京
390	島田貞彦の生涯と業績	〃	『古代文化』第37巻第７号	京　都
391	俊寛の生体復原像に寄せて	〃	『観世』第52巻第８号	東京・京都
392	高松院非藏人・藤原朝宗の母	〃	『姓氏と家紋』第43号	東　京
393	皇后・藤原泰子	1986年	『歴史と旅』第13巻第１号	〃
394	平泉と平安京	〃	『私の平泉』	岩手県平泉町
395	勢観房源智上人と静遍僧都	〃	『勢観房源智上人』	京　都
396	産業考古学の問題	〃	齋藤忠編『日本考古学論集』１転載	東　京
397	平泉と平安京の見すごされていた関係	〃	『芸術新潮』1986年10月号	〃
398	銘辞学とその周辺	1987年	『季刊考古学』第18号	〃
399	考古学史の重要性	〃	『考古学ジャーナル』第273号	〃
400	考古学の用語	〃	『同朋』第107号	京　都
401	三上人の生きた時代	〃	『知恩』第491号	〃
402	転換期の考古学 ―トムセン『北方古代学入門』150年を紀念して―	〃	『古代文化』第39巻第６号	〃
403	能勢丑三略伝	〃	『古代文化』第39巻第６号	〃
404	鳥部野とその周辺	〃	『観音講座だより』第33号	〃
405	平泉と平安京の見すごされていた関係 （内容は、395に同じ）	1988年	『平泉町史』総説・論説編	岩手県平泉町
406	性と血の蔓で皇室を縛った一族	〃	『歴史と旅』第15巻第15号	東　京
407	ユクンドゥスの家―『金融業者ユクンドゥス』補遺―	〃	齋藤忠先生頌寿記念論文集刊行会編『考古学叢考』上巻	〃
408	古代学者アドルフ・ミハエリス	〃	『橿原考古学研究所論集』第10	〃
409	アンキュラのアウグストゥス神殿	1989年	『古代文化』第41巻第１号	京　都
410	訳註『後宮職員令』	〃	律令研究会編『訳註日本律令』10	東　京
411	賀茂の斎院をめぐって	〃	糺の森顕彰会編・発行『鴨社の絵図』	京　都
412	ローマに日本の西欧研究所を （加筆して『古代文化』第41巻第９号に再録）	〃	『中央公論』第104年第1224号	東　京
413	皇太弟尊仁親王	1990年	古代学協会編『後期摂関時代史の研究』	京　都
414	倶利伽羅峠の合戦の意義	〃	『石川アカデミア講演録'89』	金　沢
415	桂宮	〃	『古代文化』第42巻第４号	京　都
416	海外発掘調査の今後	〃	『大学と科学』公開シンポジウム組織委員会編「文明発祥の地からのメッセージ―メソポタミアからナイルまで―」	東　京
417	平安京の鴻臚館	1990年	『古代文化』第42巻８号	京　都

418 ミハエリス氏『美術考古学発見史』（濱田耕作）解説	1990年		東　京
419 斎内親王のことども	1991年	パンフレット	京　都
420 平安京	〃	『国史大辞典』第12巻	東　京
421 東大寺の大仏	1992年	『吉川弘文館の新刊』第40号	〃
422 秀衡・義経は鎌倉幕府を確実に倒す秘策を持っていた（346の改題）	〃	知的生きかた文庫『新・大逆転の日本史』	〃
423 大島本『源氏物語』の由来	〃	『古代文化』第44巻第５号	京　都
424 承和九年十二月十六日付『廣湍秋麻呂水田立券文写』	1993年	『古代文化』第45巻第２号	〃
425 後白河院の近臣	〃	（財）古代学協会編『後白河院―動乱期の天皇』	東　京
426 後白河院の後宮	〃	〃	〃
427 建春門院	〃	〃	〃
428 阿仏尼	〃	上田正昭・村井康彦編『千年の息吹き』上巻	京　都
429 醍醐天皇（Ｄ387の再録）	〃	『歴史と旅』臨時増刊号（第20巻第８号）	東　京
430 紫式部（現在に続く血脈）	〃	『歴史読本』600号記念　日本を変えた人物200人	〃
431 ユリア・ドムナ皇后（１）、（２）	1993, 1994年	『古代文化』第45巻第12号、第46巻12号	京　都
432 小牧実繁先生	1994年	角田編『考古学京都学派』	東　京
433 a 古代都市の形成	〃	（財）古代学協会・古代学研究所編『平安京提要』	〃
434 b *The Formation of the ancient City*（No.429 a の英訳）	1994	*Opuscula Pompeiana*, Vol. Ⅳ	Kyoto
435 穴沢博士の『転換期の考古学』評について	1994年	『古代文化』第46巻第10号	京　都
436 紫式部	〃	紫式部顕彰会編・発行『平安女流作家の世界』	〃
437 国分寺の創設	1996年	角田文衛編『新修国分寺の研究』第６巻	東　京
438 国師と講師	〃	〃	〃
439 榊原政職―日本考古学の彗星―	1997年	角田文衛編『考古学京都学派』増補版	〃
440 その頃の京大考古学教室―晩年の濱田耕作先生―	〃	〃	〃
441 文化を伝えた公家たちのサバイバル術	〃	『芸術新潮』1997年９月号	〃
442 セイス博士と羅振玉氏の会見記念写真解説	〃	『古代文化』第49巻第10号	京　都
443 日本一の名門一族（内容は404に同じ）	〃	『歴史と旅』第24巻第17号	東　京
444 濱田耕作博士とギリシア銘辞学	1998年	『古代学研究所研究紀要』第７輯	京　都
445 丹生遺跡の問題	〃	『日本考古学』第６号（特集『日本考古学の50年』）	東　京
446 勃興期の考古学界―濱田耕作（青陵）の時代	〃	『21世紀への考古学』日本考古学協会創立50周年記念講演会	〃
447 北山のなにがし寺	1999年	鈴木一雄、伊藤博監修『「源氏物語」の鑑賞と基礎知識』	〃
448 国王の出現	〃	『初期王権研究』公開講演会	京　都
449 平家と源氏	2000年	国立能楽堂事業課編、日本芸術文化振興会発行『井筒』第200号	東　京
450 前斎宮・恬子内親王の邸宅	〃	『京都新聞』平成12年３月23日号	京　都
451 勃興期の考古学界―濱田耕作（青陵）とその時代―	〃	日本考古学協会編『日本考古学を見直す』	東　京
452 最新日本史（教科書）	2002年	高校教科書　明成社	〃
453 ＜学史＞濱田耕作（青陵）先生のことども	2004年	『古代文化』第56巻第10号	京　都
454 仁和寺所蔵典籍の概要	2006年	『仁和寺所蔵典籍の研究』	〃

455	ヴァフィオの墳丘墓とその遺宝	2008年	『古代文化』第60巻第２号	京　都

E）書　評

1	富田彬『近代英文學雑考』	1932年	『成城學園時報』第33号	東　京
2	第11次『新思潮』創刊號	〃	〃	〃
3	加藤武雄『「城」九号を読む』	1933年	『城』第11号	〃
4	遠藤嘉基『寸評』	〃	〃	〃
5	中河与一『「城」を読みながら』	〃	『城』第13号	〃
6	土井治『「退屈な悲劇」を読みて』	〃	〃	〃
7	SCHMIDT, H., *Cucuteni in der Mordau, Rumänien* (Berlin, 1932)	1935年	『史林』第20巻第３号	京　都
8	SCHLIEMANN, H., *Selbstbiographie bis zu seinem Tode vervollständigt,* 2. Aufl. (Leipzig, 1936)	1937年	『考古学論叢』第４輯	〃
9	小栗襄二『アッシリヤ学概説』	〃	〃	〃
10	渡辺・早川・伊豆・三沢共編『日本歴史教程』第１冊―原始社会の崩壊まで―	〃	『考古学論叢』第４輯	〃
11	『日本文化史大系』奈良文化編	〃	『考古学論叢』第５輯	〃
12	上田三平『拂田柵・城輪柵趾』	1938年	『考古学論叢』第９輯	〃
13	帝室博物館編『天平地宝』	1939年	『史林』第24巻第１号	〃
14	梅原末治『近畿地方古墳墓の調査』３	〃	『史林』第24巻第２号	〃
15	石田茂作・矢島恭介『金峯山経塚遺物の研究』	〃	『史林』第24巻第２号	〃
16	井上通泰「上野国三碑考」(『歴史地理』第73巻第１・２号連載)	〃	『考古学論叢』第11輯	〃
17	杉山寿栄男『日本原始繊維工芸史』	1943年	『史林』第28巻第３号	〃
18	小林行雄・藤原謙二郎『大和唐古弥生式遺跡の研究』	〃	『史林』第28巻第４号	〃
19	梅原末治『支那漢代紀年銘漆器図説』	1944年	『史林』第29巻第２号	〃
20	RODENWALDT, G., *Zur Begrenzung und Gliederung der Spädtantike.*	〃	『史林』第29巻第２号	〃
21	SCHAEFFER, C. F. A., *Stratigraphie Comparée et Chronologie le l'Asie occidentale,* (London, 1948)	〃	『古代学』第１巻第４号	大　阪
22	MAIURI, A., *Introduzione allo Studio di Pompei*	1953年	『古代学』第２巻第４号	〃
23	SPINAZZOLA, V., *Pompei alla Luce degli Scavi Nuovi,* 3 vol.	1954年	『古代学』第３巻第４号	〃
24	PLATNAUER, M., *Fifty years of classical scholarship*	1955年	『古代学』第４巻第１号	〃
25	IRMISCHER, J., *Praktische Einführung in das Studium der Altertumswissenschaften*	1956年	『古代学』第４巻第１号	〃
26	定金右源二『古代東方史の再建』	〃	『日本読売新聞』昭和31年３月26日号	東　京
27	CHIL DE, V. G., *Piecing Togeher the Past*	〃	『古代学』第５巻第３・４合併号	大　阪
28	PARETI, L., *Storia di Toma e del Mondo Romano,* Vol. Ⅰ～Ⅲ	1957年	『古代学』第６巻第１号	〃
29	PALLIS, S. A., *The Antiquity of Iraq. A Handbook of Assyriology*	〃	『古代学』第６巻第２号	〃
30	ONORATO, G. O., *Iscrizioni Pompeiane: La Vita pubbica*	〃	『古代学』第６巻第３号	〃
31	L'ACCADÉMIE DES SCIENCE DE l'URSSE, *L'Histoire Universelle,* t. Ⅰ	〃	〃	〃
32	アンドレ・パロ著、波木居斉二・矢島文夫共訳『聖書の考古学』	1958年	『図書新聞』第458号	東　京
33	E・キエラ著、板倉勝正訳『粘土に書かれた歴史』	〃	『東京新聞』夕刊９月３日号	〃
34	塩沢君夫『古代専制国家の構想』	1959年	『古代文化』第３巻第７号	京　都

35	ソビエト科学アカデミー版、江口朴郎・野原四郎・林基監訳『世界史・古代１』	1959年	『朝日ジャーナル』12月６日号	東　京
36	ノイバート著、酒井傳六訳『王家の谷』、ホルスト著、関楠生訳『エジプト王陵の秘密』	1960年	『東京新聞』夕刊７月21日号	〃
37	CLARK, J.D, *The Prehistory of Southern Africa*	〃	『古代学』第９巻第１・２合併号	大　阪
38	MAIURI, A., *Ercolano: I nuovi scavi,* 1927～1958, Vol. I	1961年	『古代学』第９巻第４号	〃
39	ВИНБЕРГ, Н. А. и др., *Советская Археологическая Литература. Библиография* 1941～1957	〃	〃	〃
40	梅原末治『蒙古ノイン・ウラ発見の遺物』	〃	『古代学』第10巻第１号	〃
41	CLARK, J, G, *World Prehistory: An Outline*	1962年	『古代学』第11巻第１号	〃
42	平井卓郎『古今六帖の研究』	1964年	『古代学』第11巻第３号	〃
43	COOK, J. M., *The Greeks in Ionia and the East*	〃	『古代学』第11巻第４号	〃
44	HOLE, F. and R. F. HEIZER, *An Introduction of Prehistoric Archaeology*	1965年	『古代学』第12巻第２・３合併号	〃
45	JONES, A. H. M., MARTINDALE, J. R. and J. MORIS, *The Prosopography of the Later Roman Empire,* Vol. I：A. D. 260～395	1974年	『古代文化』第26巻第６号	京　都
46	米田治泰『ビザンツ帝国』	1977年	『古代文化』第29巻第８号	〃
47	KRUEGER, B., *Die Germanen. Geschichte und Kultur der germanischen Stämme in Mitteleuropa,* Bd. I	〃	『古代文化』第29巻第６号	〃
48	馬場あき子『日本女歌伝』―女流和歌史に巧みな分析―	1979年	『短歌』第26巻第２号	東　京
49	BOOKMANN, H, *Einführung in die Geschichte des Mittelalters*	〃	『古代文化』第31巻第３号	京　都
50	永原慶二『歴史学叙説』	〃	〃	〃
51	樋口隆康編『図説日本文化の歴史』１先史・原史	〃	『本の窓』第２巻第１号	〃
52	馬場恵二『エーゲ先史考古学一世紀』―ツアコン考古学の花盛り―	1980年	『古代文化』第32巻第９号	〃
53	平山敏治郎著『日本中世家族の研究』	〃	『古代文化』第32巻第11号	〃
54	CRAIG MCCULLOUGH, H. and WILLIAM HELEN (transl.), A *Tale of Flowering Fortunes,* 2 vols. CRAIG MCCULLOUHG, H. (transl.), *Okagami; The Great Mirror. Fujiwara Michinaga* (966～1027) *and His Times. Quarterly,* Vol. XXⅧ, No.1, Tokyo, 1981			
55	司馬遼太郎『歴史の世界から』	1981年	『日本経済新聞』1981年１月18日号	東　京
56	阿部謹也・網野善彦・石井進・樺山紘一共著『中世の風景』	〃	『古代文化』第33巻第11号	京　都
57	H. J. エガース著（田中・佐原共訳）『考古学研究入門』	1982年	『古代文化』第34巻第10号	〃
58	斎藤忠著作選集	1998年	『季刊考古学』第65号	東　京
59	齋藤忠編『書物等からみた歴史学・考古学の先覚』	〃	『古代文化』第51巻第５号	京　都

F）随想・その他

1	牧場にて	1929年	『月刊文芸』1929年２月号	東　京
2	新合格者の實際體驗記	1931年	『受験と學生』第14巻第７号	〃
3	私の受験合格記	〃	〃	〃
4	小説に於ける現在時称の問題	1932年	『今日の文学』第２巻第９号	〃
5	アルフレッド・ドゥ・ミュッセ『詩人の祈願』（翻訳）	〃	『城』第７号	〃
6	文芸部より	〃	〃	〃
7	スティーヴン・リーコック『No.56』（翻訳）	〃	〃	〃
8	ボーリス・ピリニヤック『手についた土』（翻訳）	〃	『城』第８号	〃
9	編輯後記	〃	〃	〃
10	タンタルスの踊	〃	『城』第９号	〃

11 編輯後記	1932年	『城』第９号	東　京
12 編輯後記	〃	『城』第10号	〃
13 荊棘	1933年	『城』第11号	〃
14 編輯後記	〃	〃	〃
15 神変麝香猫のこと	〃	『城』第11号	〃
16 退屈な悲劇	〃	『城』第12号	〃
17 文芸部雑記	〃	〃	〃
18 文芸部雑記	〃	〃	〃
19 編輯後記	〃	『城』第13号	〃
20 辮財堂主人『その後に来るもの —「続」成城ジャーナリズムに踊る人々—』	〃	『城』第15号	〃
21 上水の畔で	1934年	『城』第16号	〃
22 平行な曲線	1935年	『童説』第１号	京　都
23 綺田のほとり	〃	『城』第20号	東　京
24 人間の壽命	1938年	『京都成城時報』第２号	京　都
25 薩摩国分寺文書（編輯）	〃	角田文衛編『国分寺の研究』下巻	〃
26 雪崩の如し	〃	『考古学論叢』第８輯：浜田博士追悼号	〃
27 序文 TSUNODA, B., *Studien über den Tempel Kokubun-ji*	〃	『国分寺の研究』下巻	Kyoto
28 濱田先生	1939年	京都帝国大学文学部考古学教室編『浜田先生追悼録』	京　都
29 バルカン・トルコの印象	1942年	『朝日新聞』1942年６月12日号	大　阪
30 イタリアの文化—政治性とその将来性—	〃	『朝日新聞』1942年７月26日号	〃
31 羅馬から今日	〃	『オール読み物』1942年８月号	東　京
32 最近のイタリア出版文化界	〃	『日本読書新聞』1942年９月28日号	〃
33 中央亜細亜の旅	〃	『旅』第19巻第９号	〃
34 座談会 欧洲より帰る（遠城寺宗徳・櫻井三郎・徳永康元氏と共に）	〃	『現代』第23巻第８号	〃
35 現代の伊太利の諸相	1943年	『国際文化』第23号	〃
36 古都羅馬の初夏	1949年	『滋賀学園新聞』第１号	彦　根
37 日野盆地の古代文化	1950年	パンフレット	武　生
38 古代世界史展に際して	〃	『美術ニュース』第14号	東　京
39 雑誌『古代学』創刊の辞	1952年	『古代学』第１巻第１号	大　阪
40 石田茂・和田軍一共編『正倉院』1954	〃	〃	〃
41 すぐれた日本の婦人達　政治編古代（ＮＨＫパンフレット）	〃	〃	
42 農耕の起源	1953年	『朝日新聞』1953年３月21日号	東　京
43 人類の起源問題—最近の研究をめぐって—	1956年	『朝日新聞』1956年１月18日号	〃
44 エクルスクの文化	1959年	中部日本新聞社編『ギリシア芸術展』	名古屋
45 冠形の高坏（大阪市立美術館所蔵）	〃	『中部日本新聞』1959年５月４日号	〃
46 ヘラクレス像	〃	『中部日本新聞』1959年５月９日号	〃
47 観光あれこれ	〃	『観光ジャーナル』第16号	東　京
48 濱田青陵先生—その頃の日記から—	〃	『青陵』第９号掲載	奈　良
49 石筆	〃	『東京新聞』７月１日～９月26日号	東　京
50 考古学研究の路標—埋もれた古都展によせて—	1960年	『読売新聞』夕刊1959年10月16日号	大　阪
51 カーロ教授の訃	〃	『古代文化』第４巻第３号	京　都
52 R. V. デリウス『救いを求める人びと』（１）（翻訳）	〃	『古代文化』第５巻第５号	〃
53 R. V. デリウス『救いを求める人びと』（２）（翻訳）	〃	『古代文化』第５巻第６号	〃
54 今年の平安宮発掘の成果	〃	『朝日新聞』1960年11月20日号	大　阪
55 大極殿跡発掘の収穫—平安京の中心が確定—	〃	『朝日新聞』1960年３月11日号	〃
56 越前の国府と国分寺	〃	『福井新聞』1960年３月11日号	福　井

57	V. G. チャイルド『初期の社会形態』(翻訳) 第1巻	1962年	オックスフォード版『技術の歴史』	東　京
58	S. M. コール『非金属製器具の文化』(翻訳) 第2巻	1962年	オックスフォード版『技術の歴史』	東　京
59	考古学者の夢	〃	『世界教養全集月報』第27号	〃
60	不可解な人物	1963年	角田文衛『光雲追悼録』	京　都
61	享楽者―オウィディウスとペトロニウス―（1）	1964年	『古代文化』第11巻第5号	〃
62	源氏物語と紫式部の性格―源典侍の戯画化をめぐって―	〃	『読売新聞』朝刊1964年6月11日号	〃
63	平安京とその諸遺跡	〃	パンフレット	〃
64	彦根市とその周辺	〃	パンフレット	大　阪
65	『春記』解題	1965年	『増補史料大成』第7巻	京　都
66	『歴代震記』解題	〃	『増補史料大成』第1巻	〃
67	傷心の想い（藤原光輝氏追悼号）	1966年	『古代文化』第16巻第6号	〃
68	日記帳	1967年	『住友建設月報』第220号	東　京
69	小林さんの印象『九州縄文土器の研究』	〃	小林久雄先生遺稿刊行会編	熊　本
70	高木理事の逝去	〃	『古代文化』第19巻第1号	京　都
71	新村先生を悼む （『美意延年』に再録、京都、1981年）	〃	『古代文化』第19巻第4号	〃
72	明治四二年の卒業式	1968年	『東洋経済』第3422号	東　京
73	パラティウムの丘	1969年	『ＰＨＰ』第250号	京　都
74	信夫荘司季春の死	〃	『福島民報』第14号	福　島
75	『桑折町誌』序	〃	福島県桑折町編・発行『桑折町誌』	〃
76	博物館にも新しい波	1970年	『読売新聞』1970年6月14日号	東京・大阪
77	シレックスの話	〃	『波』第4巻第1号	東　京
78	竹岡勝也『王朝文化の残照』解説	1971年	角川書店刊	〃
79	蟹満寺と光明山寺	1972年	『野外歴史学研究会々報』No30	京　都
80	源氏物語（第6巻第5号）	〃	『アルファ大世界百科』第85号	〃
81	竹三條殿社の発掘調査	〃	『京都新聞』朝刊1972年10月21日号	〃
82	巨石記念物	1973年	『ブリタニカ国際百科大事典』第5巻	東　京
83	考古学：研究史	〃	『ブリタニカ国際百科大事典』第7巻	〃
84	考古学：初期植物生産者の文化、ヨーロッパ	〃	〃	〃
85	考古学：古典文化、ローマ	〃	〃	〃
86	考古学：古典文化、東ヨーロッパ	〃	〃	〃
87	私と古代学	1975年	『歴史と地理：世界史の研究（84）』第239号	〃
88	薄幸の后・建礼門院	〃	『旅』1975年11月号（通巻第584号）	〃
89	仮面の宰相・藤原不比等（上山春平氏と対談）	〃	『日本史探訪』別巻古代編Ⅲ	〃
90	『楽石雑筆（中）』解説	1976年	『大場磐雄著作集』第7巻	〃
91	平安博物館のパネル絵	〃	三橋時雄編「吾木香―三橋節子を偲ぶ―」	京　都
92	王朝文化と後宮（丸谷才一、山崎正和両氏との対談）	〃	丸谷才一・山崎正和共編 『雑談歴史と人物』	東　京
93	京・日常・色好み　中村真一郎氏との対談	〃	『國文学―解釈と教材の研究―』第21巻第7号	〃
94	四条家記	〃	四条隆貞編『四条家略記』四条家私家版	〃
95	源氏物語散歩	〃	『日本の美』第1集	〃
96	濱田先生と本山彦一氏	〃	『京都帝國大學文學部考古学研究報告 配本の栞』第2号	京　都
97	古代学協会創設の頃―25周年にあたって―	〃	『古代文化』第28巻第12号	〃
98	平安京と京都駅	1977年	『京都駅開業100年―市民とあゆんで一世紀―』	〃
99	日本女性の寿命	〃	『野生時代』第4巻第4号	東　京
100	心やさしき宇治殿―藤原頼通―	〃	『人物群像日本の歴史』第4巻（貴族の栄華）	〃
101	源氏物語と平安京	〃	『別冊太陽No. 18（日本のこころ京都） ―旧跡、名品、秘宝―』	〃
102	冷泉家と玉緒会	〃	『短歌』第24巻第4号	〃

103	野心家の貴族—忠通・頼長・信西—	1977年	『人物群像日本の歴史』第５巻（源平の争乱）	東　京
104	寂しき晩年の忠通	〃	〃	〃
105	菅原道真と北野神社	〃	『歴史と人物』第７巻第５号	〃
106	わが著書を語る：王朝の明暗	〃	『出版ニュース』1977年５月上旬号	〃
107	京都在住の頃の三森さん	〃	『古代文化』第29巻第６号	京　都
108	平安京の都市プラン	〃	『京都』第313号	〃
109	『平安通志』解説	〃	復刻『平安通志』	東　京
110	リラという女	〃	『土車』第３号	京　都
111	御子左家	〃	『玉緒会歌集』（一）	〃
112	紫式部の生きた時代	〃	『太陽』第175号	東　京
113	幻の大極殿	〃	『日本絵巻大成月報』11	〃
114	紫式部と清少納言、紫式部と猿	〃	『日本女性の歴史』３（宮廷を彩る才女）	〃
115	まり子さん	1978年	『土車』第５号	京　都
116	金銅半跏思惟像の数奇な運命	〃	『朝日新聞』夕刊1978年２月４日号	大　阪
117	四条宮下野集	〃	『歴史と人物』第８巻第４号	東　京
118	プーシキン『予言者』	〃	『古代文化』第30巻第５号	京　都
119	白水の阿弥陀堂	〃	『文化福島』第８巻第４号（通巻第79号）	福　島
120	謎の巨石遺跡総覧：はじめに	〃	『歴史読本』第23巻第11号	東　京
121	歴史小説の功罪	〃	『郵政』第30巻第８号	〃
122	私の会った人—つづれ織の美しさ—	〃	『朝日新聞』1978年８月21日～26日	大　阪
123	白水行—阿彌陀堂のことども—	〃	『古代文化』第30巻第10号	京　都
124	ヨーロッパ初期鉄器文化	〃	『週刊朝日百科：世界の美術』28（通巻第148号）	東　京
125	ヴァイキングの文化	〃	〃	〃
126	ケニヨン女史の逝去	〃	『古代文化』第30巻第12号	京　都
127	川村喜一教授逝去	1979年	『古代文化』第31巻第２号	〃
128	義経と平泉	〃	『朝日新聞』夕刊1979年２月７日号	大　阪
129	平安京と羅城門	〃	『旅』第53巻第３号	東　京
130	皇女和宮の謎—替え玉説の真相を探る—	〃	『日本女性の歴史』15	〃
131	杜撰な考古学者用語	〃	『朝日ジャーナル』第21巻第17号	〃
132	A. H. ロガチョフ『始原考古学の対象と方法について』評註	〃	『古代文化』第31巻第５号	京　都
133	清野謙次博士の遺稿について	〃	『古代文化』第31巻第６号	〃
134	后妃と女官の知識	〃	『歴史百科』第６号『日本皇室事典』	東　京
135	中世の森	〃	『歴史と人物』第９巻第12号	〃
136	建礼門院と平知盛の妻	〃	『読売新聞』夕刊1979年10月15日号	大　阪
137	花山天皇と熊野	1980年	『自然と文化』1980年春季号	東　京
138	『源氏物語』と北山	〃	『図書新聞』1980年４月１日号（第199号）	〃
139	冷泉家と時雨亭文庫	〃	『朝日新聞』夕刊1980年４月11日号	大　阪
140	葵祭と斎院	〃	『葵祭』1980年５月15日号	京　都
141	平安王朝のヒメと恋	〃	『遊』1013号	東　京
142	冷泉家の古典籍をめぐって　竹西寛子氏との対談	〃	『國文学—解釈・教材・研究—』第25巻第７号	〃
143	サフランを摘む乙女	〃	『古代文化』第32巻第６号	京　都
144	私の選んだ道	〃	『日本経済新聞』1980年７月28日号	東京・大阪
145	菊の着せ綿	〃	『きもの』Vol. 44	〃
146	物言いの文学—馬場あき子氏との対談—	〃	『短歌』第27巻第10号	東　京
147	私と古書店	〃	『京古本や往来』第10号	〃
148	私の少年時代—私のベアトリーチェ—	〃	『マダム』第199号	〃
149	『史学雑誌』に対する提案	〃	私家版パンフレット	京　都
150	平安時代の女性名	〃	『国語科通信』第45号	東　京

151	設問：平安博物館研究員諸氏との対話	1980年	『古代文化』第32巻第12号	京　都
152	『史学雑誌』に対する提案	1981年	『古代文化』第33巻第４号	〃
153	学会と機関誌を憂える	〃	『読売新聞』夕刊1981年４月18日号	大　阪
154	先史と原始	〃	『日本考古学協会第47回総会資料』	東　京
155	恨めしい『応仁の乱』	〃	『土車』第20号	京　都
156	冷泉家時雨亭文庫の概略と京都を中心とする埋蔵文化財	〃	『住友建設月報』第396・397号	東　京
157	阿部兄弟	1982年	阿部次郎・阿部余四男・竹岡勝也・阿部六郎『根芹』解説	〃
158	冷泉家文書	〃	『にちぎん』昭和57年１月号	〃
159	平安の春	〃	季刊『むすび』1982年春号	京　都
160	岩本さんの俤	〃	『古代文化』第34巻第５号	〃
161	アルフェルディ教授の訃	〃	〃	〃
162	梅原末治先生を悼む	1983年	『読売新聞』夕刊昭和58年２月22日号	大　阪
163	三森定男『日本原始文化の構造』解題	〃		東　京
164	古稀を迎えて	〃	『土車』第26号	京　都
165	古稀を迎えた定家	〃	『大法輪』第50巻第５号	東　京
166	和田英松先生の偉業	〃	『国書逸文研究』第11号	〃
167	藤原定家の小倉山荘	〃	『北海道新聞』夕刊1983年６月28日号	札　幌
168	金関丈夫先生	〃	『えとのす』第21号	下関・東京
169	双頭の鷲―大国主義の由来―	〃	『月刊朝雲』第20巻第８号（通巻第232号）	東　京
170	幻の都	〃	『事務と経営』Vol.35、No.439	〃
171	紫式部の生涯と文学と思想	〃	『住友建設月報』第418号	〃
172	再びエガース著『考古学入門』について	〃	『古代文化』第35巻第10号	京　都
173	近況	〃	『読売京都ライブ』第６号（『人・ぴーぷる』欄）	大　阪
174	六孫王神社	〃	京都新聞社編『私のすきな京都』	京　都
175	小林文次博士を憶ふ	1984年	『古代文化』第36巻第２号	〃
176	濱田耕作著『通論考古学』解題	〃	覆刻版『通論考古学』	東　京
177	モンテリウス著（濱田耕作訳）『考古学研究法』解説	〃	覆刻版『考古学研究法』	〃
178	王朝・その歴史の謎を語る	〃	『國文学―解釈と教材の研究―』第29巻第14号	〃
179	公達あわれ―壇の浦の戦いと落人たち―	〃	『読売新聞』夕刊昭和59年12月14日号	大　阪
180	『考古学論叢』解説	1985年	覆刻版『考古学論叢』第３巻	東　京
181	首藤中将略伝	〃	『古代文化』第37巻第４号	京　都
182	三森定男『離洛状』解説	〃	『古代文化』第37巻第７号	〃
183	序	〃	『笠松家典籍目録』	大阪府赤阪村
184	北上川	〃	『土車』第36号	京　都
185	考古学とは何か	〃	『古代学講演会報告』	福　岡
186	アーヘンで思ったこと	1986年	『歴史と地理』第366号	東　京
187	私のふるさと・桑折町	〃	『文化福島』第16巻第２号	福　島
188	現代の悲劇	〃	『キャリア・ガイダンス』第18巻第６号	東　京
189	石附喜三男	〃	『アイヌの文化の源流』への序	札　幌
190	まことに惜しい人（石附教授追悼号）	〃	『古代文化』第38巻第11号	京　都
191	伝記研究の妙味	〃	日本歴史学会編『伝記の魅力』	東　京
192	痛惜の極み	1987年	追悼文集『岸所長を偲ぶ』	橿　原
193	考古学・歴史学と埋蔵文化財（１）（２）	〃	『住友建設月報』第461、462号	東　京
194	年齢の数え方	〃	『教育福島』1987年4・5月号	福　島
195	『濱田耕作著作集』第７巻解説	〃		京　都
196	濱田博士の偉業	〃	『濱田耕作（青陵）記念展』パンフレット	岸和田
197	和田英松先生の偉業	〃	国書逸文研究会編『和田英松博士の学恩』	京　都

198	阿武山古墳発見の頃	1988年	『中央公論』第103年第２号	東　京
199	遺物を熟視する	〃	『土車』第46号	京　都
200	うら話『日本女性名』	〃	『京都新聞』夕刊1988年８月22日号	〃
201	アコリス遺跡の発掘調査	〃	『白い国の詩』通巻第385号	仙　台
202	濱田先生の思い出	〃	岸和田市教育委員会編・発行『濱田青陵―その人となり―』	岸和田
203	杉道助氏のことども	〃	『土車』第48号	京　都
204	『古代文化』の沿革	〃	『古代文化』第40巻第12号	〃
205	スタビアの一日	1989年	『土車』第50号	〃
206	斎藤さんを憶う（斎藤優先生追悼号）	〃	『福井考古学会会誌』第７号	鯖　江
207	喜田貞吉先生	〃	『古代文化』第41巻第７号	京　都
208	三宅宗悦博士	〃	『古代文化』第41巻第８号	〃
209	紫式部と平安京	〃	『住友建設月報』第293号	東　京
210	『京都府平尾城山古墳』序	1990年	『古代学研究所報告』第１冊	京　都
211	海外発掘調査の歴史と課題	〃	『読売新聞』東京版夕刊1990年３月６日号	東　京
212	濱田耕作訳『ミハエリス氏美術考古学発見史』（覆刻）解説	〃	雄山閣出版刊	〃
213	紫式部の邸宅	〃	『わかな』創刊号	京　都
214	聖武天皇の勅書	〃	『出版ダイジェスト』第1343号	東　京
215	紫式部	〃	「日本歴史「伝記」総覧（「別冊歴史読本・事典シリーズ』第８号）」	〃
216	清少納言	〃	〃	〃
217	源平の合戦―治承・文治の内乱をめぐって―	〃	『観音文化講座たより』第39号	京　都
218	古代における雙ケ丘とその周辺	〃	京都市文化観光局文化部文化財保護課編『京都市文化財だより』1990年第14号	〃
219	阿部和子さんのこと	〃	『春光会会報』1990	仙　台
220	鴻臚館特輯号〔2〕挨拶	〃	『古代文化』第42巻第12号	京　都
221	鳥辺野のわたり	〃	『醫道顕彰会例大祭記念講演1990』	〃
222	紫式部の墓	〃	『わかな』第２号	〃
223	『茨城県福田（神明前）貝塚』序	1991年	『古代学研究所研究報告』第２輯	〃
224	造酒司	〃	『創造的市民』第27号	〃
225	鞍京と平泉	〃	『歴史誕生』９	東　京
226	峯村評議員の訃	〃	『土車』第58号	京　都
227	北山のなにがし寺	〃	『わかな』第３号	〃
228	末永博士のことども	〃	『考古学ジャーナル』第338号	東　京
229	末永雅雄博士を悼む	〃	『古代文化』第43号第10号	京　都
230	阿仏尼	〃	『京都新聞』1991年10月７日号	〃
231	藤原氏の四奸雄―摂政良房の場合―	〃	『歴史誕生』12	東　京
232	一寸法師の話―古代学協会創立四十周年に寄せて―	〃	『土車』第60号	京　都
233	道心と衣食	〃	『春光会会報』1991	仙　台
234	序	〃	宮崎糺『武蔵考古漫歴』	東　京
235	宇治川のほとり	〃	『わかな』第４号	京　都
236	観音さまの踊り	1992年	『土車』第61号	〃
237	後白河院の世界	〃	『観音文化講座たより』第42号	〃
238	興善寺の一夜	〃	『古代文化』第44巻第２号	〃
239	源九郎義経の妻妾	〃	『古代文化』第44巻第２号	〃
240	『平井尚志先生古稀記念考古学論攷』序	〃		大　阪
241	東大寺の大仏	〃	『吉川弘文館の新刊』1992年３月号	東　京
242	思い出の古文書	〃	『歴史読本』事典シリーズ『日本歴史「古文書」総覧』	〃

243 後白河院の世界	1992年	『後白河法皇とその時代』	京　都
244 勝田さんを偲ぶ	〃	勝田龍夫追悼集編纂委員会編『追憶の勝田龍夫』	東　京
245『大分県丹生遺跡群の研究』序	〃	『古代学研究所研究報告』第３輯	京　都
246 宝菩提院の菩薩半跏像	〃	『オール関西』第９巻第７号	大　阪
247 インタビュー・千二百年前の京都	〃	『ねっとわーく京都』1992年９月号通巻42号	京　都
248 瀧川政次郎先生	〃	『古代文化』第44巻第11号（瀧川政次郎博士を偲んで）	〃
249 憂愁	〃	『春光会々報』1992年号	仙　台
250 アンデルソン博士の遺影	〃	『古代文化』第44巻第12号	京　都
251 解説	〃	『濱田耕作著作集』第６巻	
252 後記	〃	（財）古代学協会編『後白河院―動乱期の天皇』	東　京
253 ナポリとポンペイ	〃	『土車』第66号	京　都
254 特輯号に寄せて（特輯平泉、京都、鎌倉―平安末期都市史研究―）	1993年	『古代文化』第45巻第９号	〃
255 京都と事典	〃	聖教新聞	東　京
256 北山の准后	〃	『全国地名保存連盟会報』第23号	〃
257 高梨さん（『懐かしい方』と改題し『財団法人高梨学術奨励基金十年の歩み』Ⅱ、1994年に再録）	〃	『東京』第124号	〃
258 腰越状	〃	『歴史読本』第38巻第11号（1993年６月号）	〃
259 紫式部の身辺	1994年	『新編日本古典文学全集月報』１	〃
260『古代文化』特輯号に寄せて（古代都市・平安京）	〃	『古代文化』第46巻第３号	京　都
261『平安時代史事典』の編纂を終えて	〃	『土車』第70号	〃
262 梅原末治博士	〃	角田文衛編『考古学京都学派』	東　京
263 まえがき	〃	〃	〃
264 序	〃	『平安京提要』	〃
265 序	〃	『平安時代史事典』上巻	〃
266 あとがき	〃	『平安の都』（朝日選書）	〃
267『平安の都』所収の短文 ①陽気な女房たち ②紫野の斎院 ③逸話にみる清女の晩年 ④破壊の罪―道命阿闍梨 ⑤平泉のキャラバン隊長―金売吉次	〃	〃	〃
268 石丸晶子『式子内親王伝』解説	〃	朝日文庫640	〃
269『紫式部日記』のことども	〃	『新編日本古典文学全集月報』11	〃
270 古社寺の調査	〃	京都市文化観光局文化財保護課編『京の古代社寺―京都式内社と古代寺院―』（京都市文化財ブック第10集）	京　都
271 対談―王朝の性と死（上山春平氏と）	〃	『芸術新潮』1994年４月号	東　京
272 ポンペイへの憧憬	1995年	『経済往来』第47巻第１号	〃
273 ポンペイの発掘調査	〃	『有恒会報』第143号	大　阪
274 ギリシア・オリュンピア遺跡ヘラ神殿址（図版解説）	〃	『古代文化』第47第６号	京　都
275 木村淳氏を憶う	〃	『京都宮城県人会創立百周年記念誌』	〃
276 中河与一先生	〃	『ラマンチャ』第52号	神奈川
277 眩しいあたり―角川書店と私―	〃	角川書店創立五十周年記念出版編纂委員会編『角川書店と私』	東　京
278 国分寺研究文献目録	1996年	角田文衛編『新修国分寺の研究』第６巻	〃

279	『新修国分寺の研究』跋	1996年	角田文衛編『新修国分寺の研究』第６巻	東　京
280	明治のをみな	〃	『在家仏教』第45巻第531号	〃
281	下鴨のよさ	〃	『下鴨地区建築協定だより』第３号	京　都
282	山内さんのこと	〃	山内先生没後25周年記念論集刊行会編『画龍点睛―山内清男先生没後25年記念編集―』	福　島
283	『影印「大島本源氏物語全十巻」』影印本の刊行に寄せて	〃	『影印「大島本源氏物語全十巻」』内容見本	東　京
284	フォーラム『火山災害と人類』に寄せて	〃	指宿市教育委員会『フォーラム火山災害と人類―火山と人類の歴史をたずねて―』	指　宿
285	歳男放談	1997年	京都ロータリークラブ週報No.28	京　都
286	ペルケオの唄―ハイデルベルクの回想―	〃	『土車』第81号	〃
287	望蜀の想い	〃	『史窓余話』第15巻下（『国史大辞典』第15巻下附録）	東　京
	（吉川弘文館編集部編『歴史の花かご』下　書物と文化、1998年、東京に再録）			
288	黒板勝美博士を偲ぶ	〃	『古代文化』第49巻第３号	京　都
289	三条高倉のわたり	〃	『角川日本氏姓歴史人物大辞典月報』11号	東　京
290	『平安京左京五条三坊八町』序	〃	『平安京跡研究調査報告』第19輯	京　都
291	おくがき	〃	角田文衛編『国分寺の研究』第７巻	東　京
292	『紫女讃歌』について	〃	『土車』第84号	京　都
293	往古の平安京を歩く	〃	『サライ』第９巻第１号（サライムック『私のとっておきの京都』〔1998年〕に再録）	東　京
294	竹内理三先生―不世出の歴史学者―	1998年	竹内理三・人と学問編集委員会編『竹内理三―人と学問―』	〃
295	三條姉小路の大火	〃	『姉小路界隈を考える会報告書』第10号	京　都
296	断腸の思い	〃	石附喜三男先生を偲ぶ本刊行委員会編『時の絆』	札　幌
297	御挨拶―社団法人紫式部顕彰会の発足に際して―	〃	『わかな』第13号	京　都
298	『古代文化』（第41巻～第50巻）総目録はしがき	〃	『古代文化』第50巻第12号	〃
299	降姫女王	〃	『新編日本古典文学全集月報』44	東　京
300	対談―平安京への視野（秦恒平氏と）	〃	『美術京都』第20号	京　都
301	ペルケオの唄―ハイデルベルグの回想―（土車の再録）	〃	『春光会会報』1997	仙　台
302	＜図版解説＞トルコ西海岸・フォーチャの岩室墳	〃	『古代文化』第50号第11号	京　都
303	この人・この３冊『シュリーマン』	1999年	『毎日新聞』1999年１月17日号	大　阪
304	『冷泉家の至宝展』を見て	〃	『毎日新聞』1999年４月27日号	〃
305	考古学の名義変更	〃	『考古学ジャーナル』No.450	東　京
306	北山のなにがし寺（角田・加納共編『源氏物語の地理』に再録）	〃	角田『若紫抄』（1968年、東京）伊藤博編『源氏物語の観賞と基礎知識』No.5	〃
307	『文化史学』創刊の頃	〃	『文化史学』第55号	京　都
308	散歩で元気	〃	『サライ』第11巻第22号	東　京
309	対談―清少納言と紫式部について（瀬戸内寂聴氏と）	〃	『清流』1999年５月号	〃
310	序	〃	『仁和寺研究』第一輯	〃
311	写真等	2002年	『飽きない散歩術』（小学館、『サライ』第11巻第22号の再録）	〃
312	私が影響を受けた考古学者 濱田耕作	〃	『文化遺産の世界』2002年Vol.５	〃
313	大原　物語の現場に行く	2003年	『サライ』第15巻第20号（サライムック『サライ 達人の京都巡り』〔2008年〕に再録）	〃
314	わが弟・文次のこと	2004年	『それぞれのマイルストーン』	〃